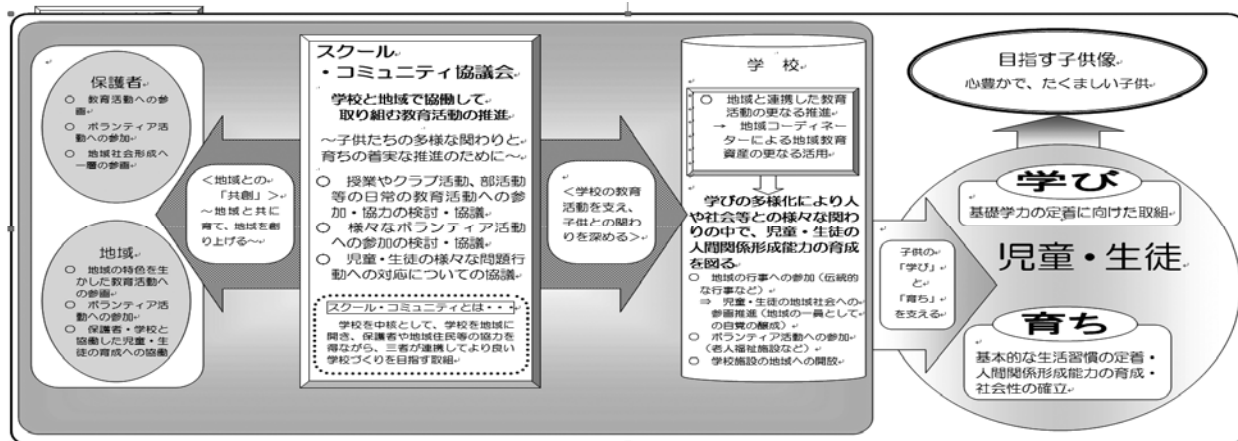


## ◆事業方針（計画等における位置付け）

本市では、「学校支援ボランティア推進協議会事業」を活用し、「府中版コミュニティ・スクール事業」を実施している。文部科学省が推進するコミュニティ・スクールを範とし、地域住民の学校運営への参画を組織的に実施できるようにすること、コーディネーターを指名することによる、ボランティアの方々と学校との連携を強化すること、学校を核とした地域の活性化を図ることなど、学校と地域との双方向の発展を目指している。

## ◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等を含む）



## ◆広報活動（パンフレット、HP 活用、広報誌、報告書など）

今年度から「ふちゅうの教育」（教育委員会広報）に、「府中市のコミュニティ・スクール」と題したシリーズ連載を開始した。広報発行1回当たり2校の実践を紹介することを通して、各市立学校での取組状況や特色を共有できるようにした。

また、各学校でホームページでの活動紹介やたよりの発行など様々な広報を実施している。

## ◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

コーディネーター研修会により市内の取組の紹介や情報交換を実施した。

また、今年度はコーディネーター研修会と副校長研修会とを同時開催とし、学校と地域との連携について、市立学校での先進的な事例を共有する機会とするとともに、自校での今後の取組の展開を協議することを通して学校に対する事業理解促進を図った。

## ◆成果

○取組4年目を迎え、以下のような成果が見られている。

## 【活動の幅の広がり】

『地域防災』に加え、『学習支援』も開始した。」など、スクール・コミュニティ協議会が関わる活動の幅が広がりつつある。

## 【活動の内容の充実】

放課後の学習教室が継続的に実施されることで、参加する子供や支援するボランティアが増えることやコーディネーターによる仲介により従来学校とつながりがなかった団体と学校がつながりを持てるようになることなど、学校の教育活動や地域連携の質が高まりつつある。

## 【学校と地域との連携の深化】

保護者や地域住民による芝生ボランティアやゲストティーチャーとしての教育活動支援、学校による地域清掃や地域行事への児童・生徒の参加の促進など交流や協働を重ねることにより、学校と地域との連携が深まった。

## ◆課題・展望

○これまでのスクール・コミュニティ協議会における活動を踏まえつつ、地域学校協働活動を充実させるための方針の検討